



平成21年 2 月 6 日

各 位

会社名 株式会社テクノマセマティカル
代表者名 代表取締役社長 田中 正文
(コード番号 3787 東証マザーズ)
問合せ先 取締役副社長 出口 眞規子
(TEL. 03-5798-3636)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年11月5日に公表いたしました平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(単位：百万円、円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	550	△236	△218	△466	△18,884.75
今回修正予想 (B)	520	△328	△311	△559	△22,516.71
増減高 (B－A)	△30	△92	△93	△93	—
増減率 (%)	△5.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	502	△247	△236	△140	△5,736.07

2. 業績予想数値の修正理由

当第3四半期初め頃から鮮明になった世界・国内景気の急速な悪化傾向は、第4四半期も変わらないと思われ、従来にない厳しい経営環境が続くものと見込まれます。

一方、当社は、本年2月1日にジェネシス・テクノロジー社から半導体設計事業を譲受け、神戸テクノロジーセンターとして稼働を開始しております。同事業は、同社の昨年9月25日の民事再生手続き開始の申立て発表以降、顧客の発注手控えの影響を受けておりました。昨年12月25日の当社への事業譲渡発表により、一部の顧客からの受注が戻ってきてはおりますが、未だ十分なものではなく、受注の本格回復は来期以降となる見込みです。

当社といたしましては、以上のような厳しい環境下、顧客の来期以降の新規開発案件に絡んだ各種ライセンス契約の獲得に従来にも増して取り組んでまいる計画ですが、ソフトウェア、ハードウェア両部門での受注の急回復は見込み難く、当第3四半期までの実績と現時点での第4四半期案件獲得見込み、ならびに神戸テクノロジーセンターの統合負担などから、平成20年11月5日に公表いたしま

した通期業績見通しの達成は困難と判断し、誠に残念ではありますが、上記のとおり修正いたします。

（注）上記の見通しは、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性がありますので、当公表の内容に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えていただきますようお願い申し上げます。

以 上